

1

い品種の

0 內

2

原料芋の名前は クィックスィー

て体になに 1 いボジ におきます。 でヤ

体何か?を確認してりそう。その前に販売という形にしての手のは一はりそう。その前に助売という形にいが開始日は4/小での取り扱

芋焼酎が発売される予定 今度滝沢村から 

で、迅作技

理究是

が所

優

イれ

お買い物は 土日ジャンボ 市グループで

お近くの

10 果用 用食 サ味 ツに 収穫期

▲ 挿 苗 ■ 栽培期間 'クイックスイート'の適作型

ス品良イ種食

味サ

ッ

マ

ッイクモ

# 収量および芋の形状

品 種	1株あたり収量※1		a あたり	) 収量※2	平均芋重	芋の形状	
口口 代里	個	g	個	kg	(g/個)	<del>1</del> 07/154A	
クイックスイート	6.0	1, 154	2, 352	452. 1	192. 3	紡錘	
金 時	5.6	1, 378	2, 195	540.3	246.1	長丸~紡錘	
ベニアズマ	4.5	961	1, 764	376.6	213.5	紡錘	

\*\*2 \*\*1より換算 \*\*1 各 20 株調査、2 S 規格以上(60g 以上)を集計

表 2 品質特性

ニをモ

ズ ズ マ 体

に金ツ

栽培型

早掘炭栽培

普通掘り栽培

O

果用:

労的

*	種 表皮色 肉 色 (なま芋)	肉 色	水分率 (%)	Brix (%)	₩1	í	官能調查※2			
品 種					澱粉量 (g)	肉質	世さ	食味	貯蔵性	
クイックスイート	濃赤紫色	黄白色	稍黄白色	63. 2	15. 6	14. 87	粘	0	0	0
金 時	赤紫色	淡黄白色	黄白色	65. 2	12.6	10.91	中	$0\sim\Delta$	$\bigcirc \sim \triangle$	0
ベニアズマ	濃赤紫色	黄色	黄色	63. 9	12.8	15.08	粉	0~△	$\bigcirc \sim \triangle$	×

\*1 生芋重 100g あたり ※2 食感(粘:しっとり、中:粘と粉の中間の中間、粉:粉質)

甘さ(◎:強い、○:やや強い、△:やや弱い、×:弱い)

食味(◎:大変良い、○:良い、△:まあ良い、×:悪い)

年種苗登録品種)年種苗登録品種)と収量性が同等でと収量性が同等でと収量性が同等でという後の普及が期待される。 紹介する。 種の特性に (2) 品種の 0

中旬挿し苗、8月 ① 4月下旬~5月 型に適する。 型に適する。 2 以下の2栽培 要約

· クスイー 7

中②の 連掘り・貯蔵型ト10月収穫の 中旬挿し苗、Q り5月中旬~6 早旬 一掘り栽培の8月末 出の 9 6 a ぬ 場 場 場 場 で 荷普月月

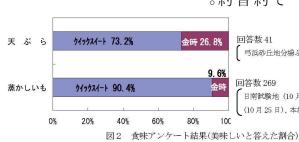
## 表3 8月上旬収量(8月3日)

品 種	上 物	上物収量		り換算	平均芋重 下物		収 量	総山	総収量	
	個/株	g/株	個	kg	(g/個)	個/株	g/株	個/株	g/株	
クイックスイート	4.3	548.8	1,580	203. 3	127. 6	2, 2	12.5	6. 5	561.3	
金 時	4.2	572, 5	1,568	212.0	136.3	1.8	10.3	6.0	582.8	
ベニアズマ	4. 1	536, 2	1,512	198.6	130.8	2. 1	21.7	6. 2	557.9	

注) 各区 20 株調査、上物収量は 2S 規格以上(60g 以上)を集計

概い高と 2 1 の収1に 0  $\begin{array}{c} 0 \\ 0 \\ 7 \\ 0 \end{array}$ 形穫 0 1 1 6 2 普通 試験成績 調月 年6 苗し、日 2 3 6 掘 年り 月 績は た。日同9 ( 栽 の良

錘 



【 弓浜砂丘地分場ふれあいセミナー(11月8日) 】

日南試験地 (10月 27日)、砂丘地研究センター (10月25日)、本場(10月31日)各ふれあいセミナー

る砂は

験圃弓

で場浜

試畑

の種イ

サト

イ新

モ品ス

ツマ

きの沢灰いトクモ

す。のでが手水ッす

収高がのけス

も村土岩はイで

がも広山はクが

穫品る火のイこ

で質滝山良一の

孝明裕計

分当

分弓

隆井本地担

肉来

質品

一 注 ぎ 垢 \*、

しし高の従

食みねの種

感ずつ粘よ

をみと質り 楽ずりが芋

ij

ッツ

クス

行貯年調い査1蔵 つ蔵1査もお9し1定後挿はた た。性月をによ日、5温1し、、 ではよる。 による素 が表表。 で行る。 や蒸肉表ク 查日 B黄か色皮ス をに翌能し調

mmし12(206 | Pcc年耕2た並蔵とで高はr)、、(500 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 39挿年年り 栽 00し4 Ⅱ P c c 苗月

ッしンもおに

し、月っ、

12

、 る蒸品月 に 1 初 に 1 初

℃庫1苗

貯3旬収47

5

月 0

k

1

貯味査と

員普現

及米

所子

良業

普改

0)

白研場浜4あに砂本点3あい7た味イクたケによから1下たと、とは収の調8布3挿岩究長砂試るお丘試 利っも3割し1ス結1よびけ10旬。同べ、約量a査月を0し裕員福丘験。け地験 用た9%合いト 果トる蒸て1月にま程二全2 あし3ベ日苗 たた日たま後 にがで 換上収け不4 算物穫 及良\*

は介滝こう い村はどいう品 る う か紹

7 7 いも る食 と味

なで的す。 サのに ツ栽

有以一ろ優冷時子最し 名南般でれめ間レ大め 対でも短いを強いません。 こがり、短電

イが東 農種で3二作術業独 育0ア物総・立 録に成省平成号ズ研合食行 さ基1命成しをマニ研品政

ま菓トんり加がま続らも特とま甘パにいり後た糊一な従し品種録年品し州ベ構技農す子ポと、工短たしか変徴りす味サよ、2、め化般る来た種苗、農種て3二作術業。にテん干にく、まい色でしながパる電0一へ温の澱の。登法平水。育0ア物総・適ト、し向済調す食せ、たな土水加え℃般5度品粉品、緑に成省平成号で研合食 が、め感ねにずでン度種℃低よ含と 持柔てがつ出、もジ低よ前いりみ異 れづ7名1た交にが、産産法まく年登4新配九が、機業人

し向済調す。食せ てどイやてた時 いのしきおめ間

でトクも料お品を菓をとや子イいまま きなす。 ・カストークイッ ・カストークイッ ・カストークイッ を持っている。 を持っている。 を持っている。 をする、には、 をするでは、 をするで お徴クれて加りなりした 間をスまれの工進らのまき加馴、ツ質め堪イす出品ん加協する力品み菓ス高の能し、荷材で工力。力品み菓ス高

%合いト

の表%かぷ答が

留る%かかって 意义でしらし美

用た9

直お培全年栽すととモでもよ川村 。が紹のき高り採内 でりに域か培 取のらは滝き介品る品 売村り農で2沢つさ種サ質寒研業 0村かれがツで冷究の し内組家 て各んで村0でけたあマ収地 い産で栽内9のでこるイ穫でご

きにク つかける人間である。 ん栽ィ だ培ッ

焼ほ8ラ単ク馴 発なう がい 仕食

上感

きね分りホで調 包イ調理 芋っり にとり( んル理 理 がい

2 0 0 グラ Ĺ

ッにの染 で 焼み きの 包 芋ホ h ゚゚゚゚゚ゕ゙゙゙゙゙゙゙ク 簡ホ ん格※

だ品イのるる地村種るすん域 沢る火つ種」がとさでの場企がなで元 トク紹つもよ 村岩山たの 内石山たのトンヤンロス は手灰うさとッな芋培なり柳内ま培か 水山土でまいクれが出寒滝川に芋がい は麓がす。芋うスたあ来冷沢採あで盛地

でたさもべが焼 耐格岩すは※ …。限つあツ米耐岩だ(手が北芋 りまり がなまとつ 海焼 芋岩 焼手 耐県 無はすり 一初 馬の 芋本

い励ま理能作かま期と寝をわま苗のいあ栽までいにのが 品す由で業みくとでせ掘るた植閑こま培し栽か合で良

短みい で糊 で調んに

すま1ト れ0自分 た年体ツ が品種ではどでは 甘時粉度 く間をの で生こ なが含低

まんず、 いたことでなかない。 重もがかや

こ出トクとすのイ 二甘ッ し寝みク たかをス せ引ィ るぎし

を手たのど長イ消作用。だにくし いはしえ適土比限売 まな産べもで 所酎岩しもなてスき

種が、これではいるにはいるでは、 種がよりではいるでは、 を対したがらのでは、 を対したがらのでは、 を対したがらではいるがらがられる。 を対したがらではいるがられる。 を対したがらではいるがられる。 を対してとがらいる。 を対してはがらいる。 をがらいる。 をがらい。 をがらいる。 をがらいる。 をがらいる。 をがらいる。 をがらいる。 をがらいる。 をがらいる。 を

のな産使クのこ期た人イのししくう寝りまいみしさス培ずな時と がい品っスでとしが気ー特たたま方かっつもがてなイし、どはいかをたっ他がか、をツ徴食。で法せーたのほしいしたもの時代 イ他がか イに出販一博方に感ね苦にるケこにとま ーク来売定し面よとつ労辿」月としんい トイたすのまでり甘としりとほもてど トクつ理間作 をイか解や業 え作いトイなすのまでり甘としりとほもてど ま寝ッく出感も

たれ特をツいる時しはスみりま着いどあしな甘食かク栽来覚当

続作でもスよ三労ががりなこ奨で酎ががを目きしりそ良イく年の安なしどと励しが不、感にま、ののく1、目連定かてをで品た作作二じはし 目連定かてをで品た作作二じはしは続せない指裁種。れの年を手た 研ま出トクは続せない指栽種 れの年た手た。 究ま来のイ気でずかま導培と村ま年目のご。 を焼た品ッ候と、品しし方いでせではでたー 継酎の質クも。苦質たた法うもん焼芋すえ年

り作

クだ手か酎クまいを酵そかてでが 探もにスし 、紹工こついもな 保りの 大りの 大りの 大のです。 に合うからなど、 からなど、 がりからない、 がりからない、 がりからない、 がりからない、 がりからない、 がりからない、 がりからない、 がりからない、 がりからない、 クイ るところも魅力で 0

っらいました

3

耐然

はな

甲話

が

のよ類焼当

はサ持とな川に

焼酎

くできた乙

で間はた

が出トク寝あの

ら0本焼 し0の耐 い0予3, 本弱とれた 定 が,0 0 4, 0 

しび派1私

いて!く

れ

!!

でも。

て味水に うが割焼

のい

飲

飲

な 0)

とになって・

売される。これ 手ん」4/20% れ発馬

イックスイン滝 沢 村 み 10

酎 に は 種 が

1果レくのでワやと感もも焼は 統元に以ル定同をはすり分準法水い使連すの分準法水い使連連をのでりる値ででアルカーに では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、、では、では、、いいは、いいは、い

で用な、種類が2の額に、一般的に「甲・乙」と呼ばれるために「甲・乙」と呼ばれるために「甲・乙」と呼ばるために「甲・乙」と呼ばでしょうか?「甲・乙」と呼ばるに使分にでする。 (焼酎) と呼ばる (焼酎) と呼ばる (焼酎) と呼ばる (焼酎) に ス1果レ 、0汁1

ピ焼か業九昭知い焼月まれ格焼 も耐の焼 中 あ呼ばる類

なさな蒸 くれど留 てがの つ て個画械 不性一や 満が化麴

ス味割ンスじ焼か旨米素し味は徴 味的ではりその香りと など)の持つ がした焼酎です。 がした焼酎です。 がした焼酎です。 がした焼酎です。 がした焼酎です。 がした焼酎です。 がした焼酎です。 がした水がにも、 がした水がにも、 がした水がにも、 がした水がにも、 がした水がにも、 がいがいの深さで など)のででは、 か ( 芋、 原深さい。 ・ のででは、 ・ でででする。 ・ ででは、 ・ でででする。 ・ では、 ・

ら楽飲もそ乙での格すイこてす味そあ味をすのい文す本ととあ年のるま味のか造式れ乙その「しみっれ類す名焼るメのは。わうりっ言。一部ではなりまでこまやたもが蒸造られた。でもないないないでは、かまって、「一点ないないないでは、「一点ないないでは、「一点ないでは、「一点ないでは、「一点ないでは、「一点ないでは、「一点ないでは、「一点ないでは、「一点ないでは、「一点ないでは、「一点ないでは、「一点ないでは、「一点ないでは、「一点ないでは、「一点ないでは、」で、「一点ないで、「一点ないで、「一点ないで、「一点ないで、」で、「一点ないで、「一点ないで、「一点ないで、「一点ないで、「一点ないで、「一点ないで、「一点ないで、「一点ないで、「一点ない」で、「一点ない」で、「一点ないで、「一点ない」で、「一点ない、「一点ない、「一点ないい、「一点ない、「一点ない、「一点ない、「一点ない、「一点ないい、「一点ない、「一点ない、「一点ないい、「一点ない、「一点ない、「)」で、「一点ない、「一点ない、「一点ない、「一点ない、「一点ない、「一点ない、「一点ない、「一点ない、「一点ない、「一点ない、「一点ない、「一点ない、「一点ない、「一点ない、「)」で、「一点ない、「一点

東北の焼酎

よ が 率 直 ・ な感想 です

二年前の試作品が あるということ で、味を見たいの をサンプルいたこ をました。その貴 をました。その貴 をするということ

類と乙 類 れ伸り耐 三業てねて味類酎れま思にてり麦米や志盛でが セ盛っわ帰い焼の ・矢田岡販出 性それぞうといいでしています。 工全すっれ種焼ずし

種さ秋!楽の! 楽今発元め し度酵は

0)

な

焼酎